

開講科目名 / Course	特別支援教育論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	古賀精治	
担当教員名 / Instructor	古賀精治、藤野 陽生	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室だけでなく、通常の学級にも在籍する様々な障害（発達障害や軽度知的障害など）のある幼児、児童及び生徒に関し、学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対応するために必要な知識や支援方法について学ぶ。	
到達目標	1. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。 2. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する特別の教育課程や支援の方法を理解する。 3. 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援について理解する。	
DPとの対応	2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力	
授業計画	01. 特別支援教育に関する制度 02. 発達障害等のある幼児児童生徒の心理的特性 03. 発達障害等のある幼児児童生徒の学習過程 04. 発達障害等のある幼児児童生徒への支援 05. 病弱等を含む様々な障害のある幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難 06. 病弱等を含む様々な障害のある幼児児童生徒への支援 07. 通級による指導と自立活動 08. 個別の指導計画と個別の教育支援計画 09. 発達障害等のある幼児児童生徒のための支援体制 10. 貧困等の問題により特別の教育的ニーズのある幼児児童生徒の理解と対応	
その他の授業の工夫	・ハンドアウトを配布し、最新の教育事情に関する話題提供を行う。 ・受講生が話し合う機会を提供する。	
時間外学修	講義終了後に、配布資料に基づき、関連資料を整理し、理解すること。	
評価方法と評価割合	試験（各授業における小レポートまたは小テストを含む）70% 平常点（発言内容等）30%	
テキスト	必要に応じてハンドアウトを配布する。	
参考書	「新訂 障害児・障害者心理学特論」（田中新正・古賀精治著、放送大学教育振興会） 「小学校学習指導要領（平成29年告示）」文部科学省 「中学校学習指導要領（平成29年告示）」文部科学省	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		